



エコアクション21

環境経営レポート



対象期間 2019年4月～2020年3月

株式会社 **東洋AC**



環境省
エコアクション21
認証番号0009211

発行日 2020年04月15日

◇目次◇

■ 環境経営方針	・・・ 1
■ 組織の概要	・・・ 2
■ 体制図及び認証登録範囲	・・・ 3
■ 環境経営目標とその実績	
■ 環境経営計画と取組結果、その評価・次年度の取組内容	・・・ 4
●電力による二酸化炭素排出量の削減	・・・ 5
●ガスによる二酸化炭素排出量の削減	・・・ 6
●総排水量の削減	・・・ 7
●燃料の削減	・・・ 8
●グリーン購入	
●一般廃棄物排出量の削減	・・・ 9
●建設産業廃棄物の適正処理	
●化学物質使用量の把握	・・・ 10
●オゾン層保護	
●温室効果ガスの削減	
■ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・・・ 11
■ 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・ 12

◇環境経営方針◇

基本理念


株式会社東洋ACは、総合設備工事業としてのノウハウを駆使すると共に、全社員個々の意識改革を促し独自の環境マネジメントシステムを構築し積極的に環境保全活動に取り組むとともに、環境経営の継続的改善に努めます。

基本方針

環境関連の法律・条例を遵守し、経営理念にそって事業活動での環境負荷の低減を図る為に次のように基本方針を定めます。

1. 環境経営目標を設定し、達成に向けて組織的な活動を持続します。
2. 資源の3R（Reduce/Reuse/Recycle）に取り組み、事業所内のみならず、事業活動においても限りある資源を有効に活用します。
3. 事務用品から建設資材においてグリーン購入の推進に努めます。
4. 電気・水道・ガス等の省エネルギーに取組み、温室効果ガスの削減に努めます。
5. 環境経営方針は、社員教育における4S活動（整理、整頓、清掃、清潔）を通じて社員に周知徹底します。
6. 環境への取組みを環境経営レポートとして取りまとめ公開します。

2018年 4月 1日

 株式会社 **東洋AC**

代表取締役 小田桐 博美

◇組織の概要◇

事業者名	株式会社 東洋エーシー（株式会社 東洋AC）	
代表者名	小田桐 博美	
所在地	本社	東京都中野区本町3丁目29-10
設立年月日	設立	平成 6年 8月 12日
	創業	昭和 63年 9年 10日
資本金	4,500万円	
事業内容	総合設備工事業	
許可番号	特定建設業（管工事業）東京都知事許可（特 - 1）第110547号 指定給水装置工事事業者（東京都）第8775号 指定排水設備工事事業者（東京都）第5166号 第一種フロン類充填回収業者登録（東京都）13104899号 建築物空気環境測定業 東京都知事（東京都21空）第401号 建設設備定期検査 第47539号 RKC(家電リサイクル券システム) コード：213990080013 高圧ガス販売事業 第4009号 一般労働者派遣事業 厚生労働大臣（派 - 13）第308417号	
有資格者	建築設備士	1名
	工学会設備士(空調・衛生)	2名
	一級管工事施工管理技士	8名
	二級管工事施工管理技士	4名
	第三種電気主任技術者	1名
	消防設備士	2名
	給水装置工事主任技術者	6名
	排水設備工事責任技術者	3名
	建築設備検査員資格者	1名
	第二種電気工事士	1名
	第二種冷媒フロン類取扱技術者	1名
	冷媒回収技術者	2名
	熱絶縁施工技能士	1名
	空気環境測定実施者	1名
	特別管理産業廃棄物管理責任者	8名
	石綿作業主任者	7名
	有機溶剤作業主任者	5名

事業の規模	年間工事高（2020年3月期）	538,736	千円
	工事件数	62	件
	事務所及び営業所規模	80.08	m ²
	従業員数	21	人

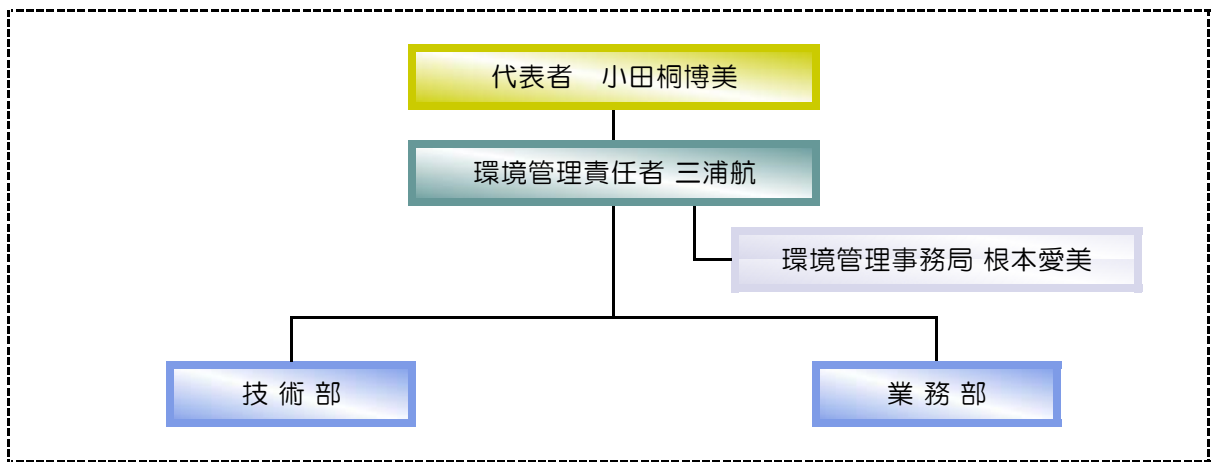
環境管理責任者 専務取締役 三浦 航

連絡先 TEL：03-3375-8088 FAX：03-3375-0177

E-mail：info@toyoac.co.jp

URL：http://www.toyoac.co.jp

◇体制図及び認証登録範囲◇



※認証登録範囲 本社業務及び付随する全ての業務

担当者	責任と役割及び権限
代表取締役 小田桐 博美	環境経営に関する統括責任 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 経営資源の準備 全体評価と見直し
環境管理責任者 三浦 航	環境経営システムの構築・実施・運用 法規制等の取りまとめ 環境経営レポートの確認 環境活動取組結果を代表者へ報告
環境管理事務局 根本 愛美	環境管理責任者補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境経営レポートの作成
全従業員	環境方針への理解と取組への自覚 積極的な環境活動への取組

◇環境経営目標とその実績◇

●昨年度より過去5年間（2013年度～2017年度）の平均数値と比較を行っています。

また、燃料使用量につきましては、台数の変更・現場までの距離などが年度毎に違うので、正しく削減できているのか判断が難しいため、目標値は立てますが判定は行いません。

目標項目	単位	基準年度	実績			目標			
			2019年度 (当期)			2020年度 (来期)		2021年度 (再来期)	
			2013年4月～ 2018年3月	2019年4月～ 2020年3月	削減率	2020年4月～ 2021年3月	削減率	2021年4月～ 2022年3月	削減率
					判定		判定		判定
二酸化炭素 排出量削減	t-CO2		5.119	2.0%	5.728	3.0%	5.671	4.0%	
		5.224	5.081	○	—	—	—	—	
		(5.903)	(5.508)						
電力使用量の削減	kWh		8789	2.0%	8699	3.0%	8612	4.0%	
		8969	7709	○	—	—	—	—	
ガス使用量の削減	m ³		612	2.0%	745	3.0%	737	4.0%	
		625	786	×	—	—	—	—	
		(768)	(850)						
総排水量の削減	m ³		187	2.0%	185	3.0%	183	4.0%	
		191	164	○	—	—	—	—	
燃料使用量の削減	ℓ		524.5	2.0%	519.1	3.0%	513.9	4.0%	
		535.2	259.8	—	—	—	—	—	
グリーン購入	%		100		100		100		
		97.4	94.1	○	—	—	—	—	
建設産業廃棄物の 適正な処理の実施	%		100		100		100		
		100	86.8	○	—	—	—	—	
二酸化炭素 総排出量削減 (ガソリン含む)	t-CO2		7.237		6.114				

(注) 上段が目標値、下段が実績値

(注) 購入電力の排出係数は、調整後の排出係数(0.462kg-co₂)を用いて算定。

(注) エアコン故障で正しい数値が取れなかった為、二酸化炭素排出量・ガス使用量の基準年度（実績値）、2019年度（目標値・実績値）から7月分の数値を除きました。カッコ内は7月を含んだ数値を記載。

●事務所内人数と使用日数をだし、基準年度と、1日(1人)当たりの使用量を比較し判定しました。

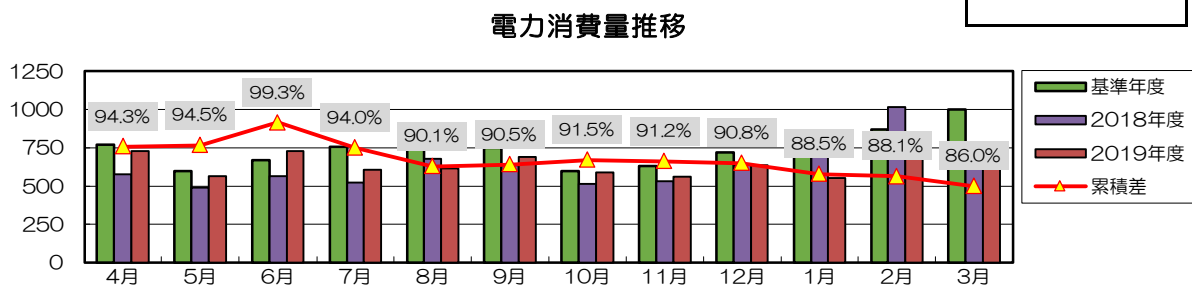
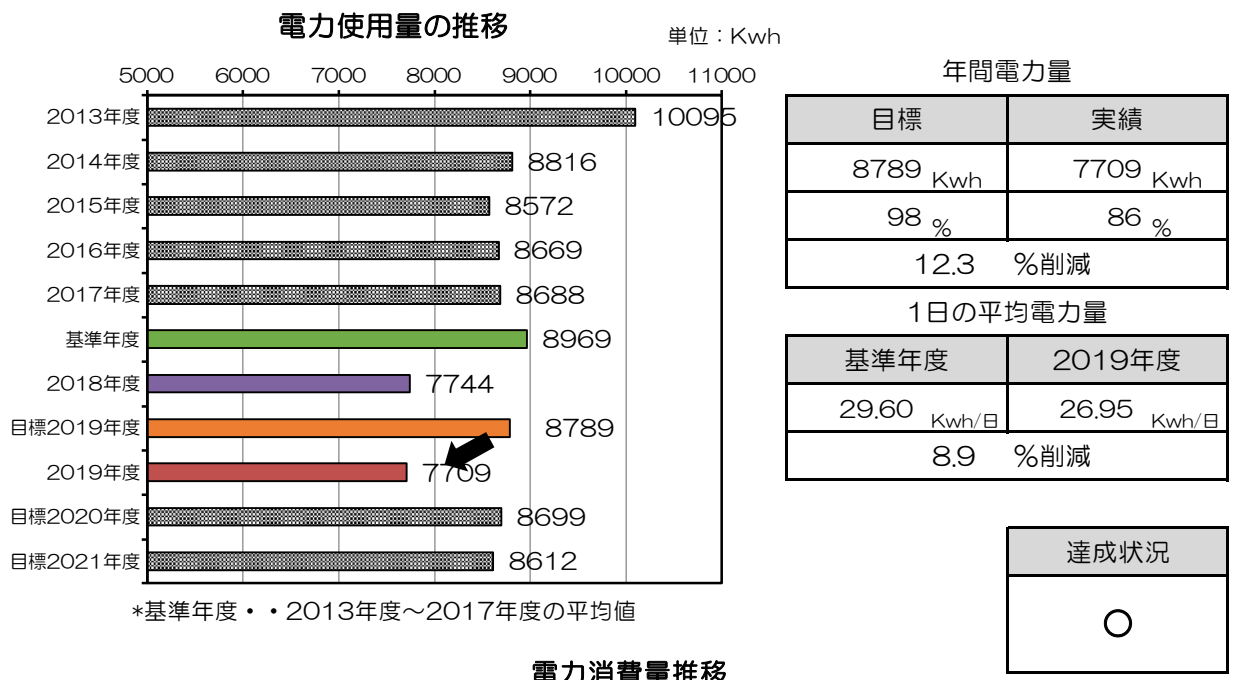
項目	単位	基準年度	2018年度	2019年度	基準年比
合計社内使用日数	日	303	287	286	94.4%
合計社内人数	人	2041	2377	1565	76.7%

項目	単位	基準年度	2018年度	2019年度	基準年比	判定
電力 1日の 平均電力量	Kwh/日	29.60	26.98	26.95	91.1%	○
ガス 1日の 平均ガス量	m ³ /日	2.06	2.61	2.75	133.2%	×
排水 1人の 平均排水量	ℓ/人	93.58	79.71	104.79	112.0%	△

◇環境経営計画と取組結果、その評価・次年度の取組内容◇

● 電力による二酸化炭素排出量の削減

目標達成手段	達成状況
事務室、トイレの不要時の消灯	○
帰宅時、電化製品の消灯	○



評価	次年度の取組
一年通して基準年度を超える月がありませんでした。とてもいい結果になりました。引き続き適切な使用を働き掛けていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 事務室、トイレの不要時の消灯 帰宅時、電化製品の消灯

<取組事例> ・ブラインドの有効利用

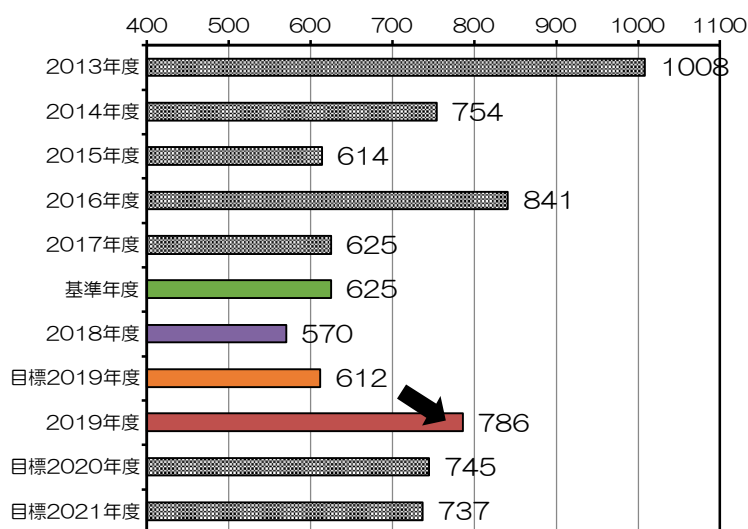


● ガスによる二酸化炭素排出量の削減

目標達成手段	達成状況
エアコン設定温度管理の徹底(冷房時28℃・暖房時20℃)	○
定期的なフィルターの清掃(3ヶ月に1回)	○
クールビズ・ウォームビズの推奨	○

ガス使用量の推移

単位：m³



*基準年度・・・2013年度～2017年度の平均値

年間ガス量

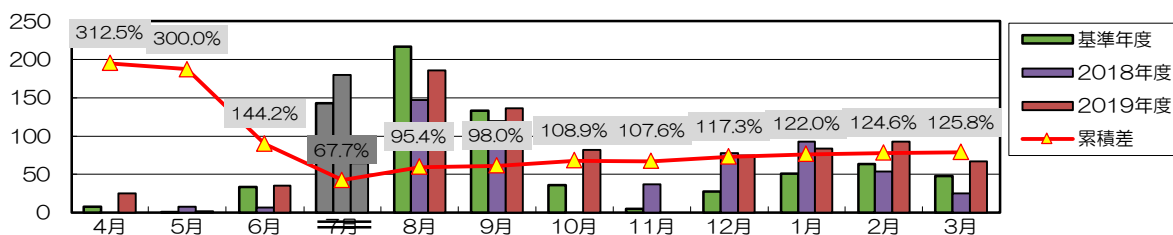
目標	実績
612 m ³	786 m ³
98 %	126 %
▲ 28.4 %増加	

1日の平均ガス量

基準年度	2019年度
2.06 m ³ /日	2.75 m ³ /日
▲ 33.2 %増加	

達成状況
×

ガス消費量推移



評価	次年度の取組
<p>使用量が増えてしまいました。エアコンの調子が悪く終日運転を行っていたのが使用量の増えた要因だと思います。来年度に向けて対策を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン設定温度管理の徹底(冷房28℃暖房20℃) ・定期的なフィルターの清掃(3ヶ月に1回) ・クールビズ・ウォームビズの推奨

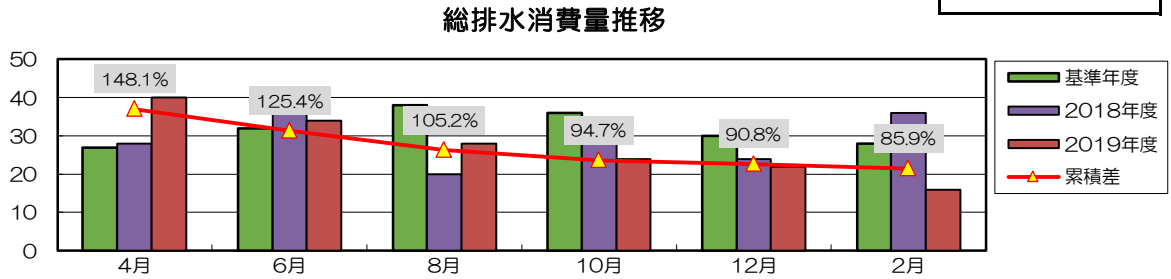
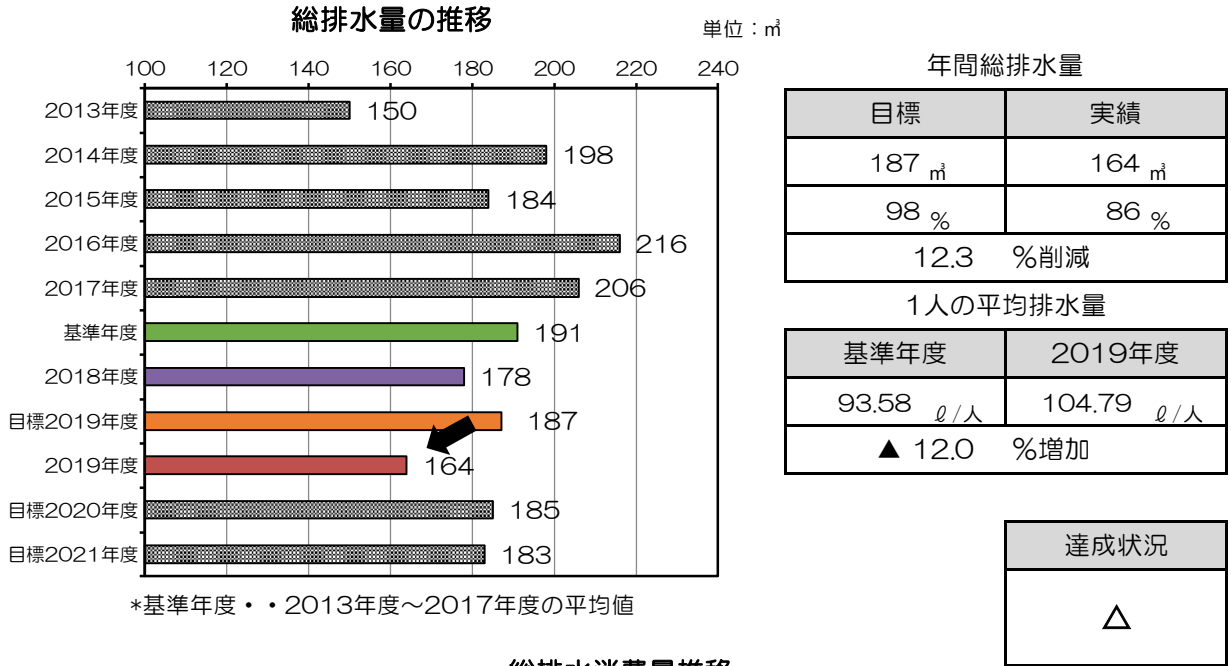
*7月はエアコン故障があり(約一週間)正しい数値が取れなかった為、比較対象から除きました

<取組事例> ・エアコン設定温度管理



● 総排水量の削減

目標達成手段	達成状況
手洗い,食器を洗う時に余計な流水をしない	○
給水管等からの漏水の点検	○



評価	次年度の取組
<p>使用量は減っているのに、一人当たりの使用量は増えてしまいました。無駄な使用は見受けられなかったため、もっと意識して行動していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、食器を洗う時に余計な流水をしない 給水管等からの漏水の点検

<取組事例> ・ 節水シール



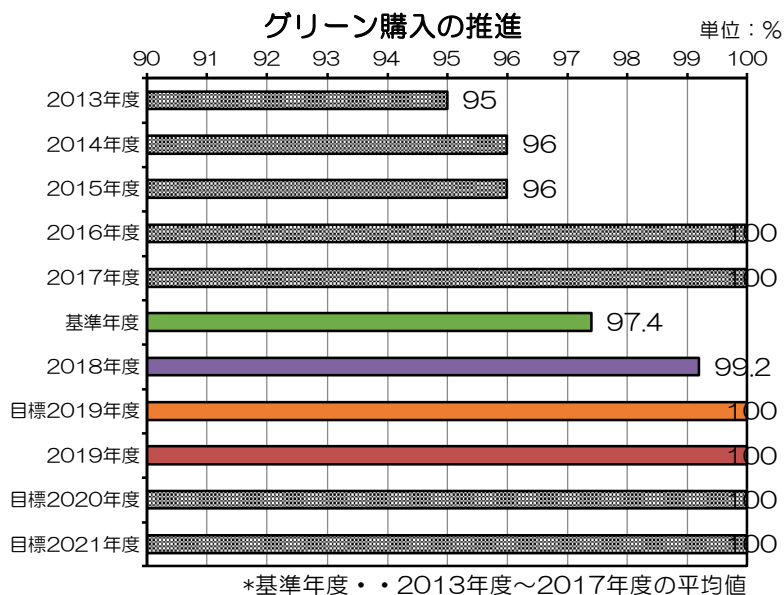
● 燃料の削減

目標達成手段	達成状況
エコドライブの実施(アイドリングストップ)	○
定期的な車両の点検	○
公共交通機関を積極的に利用	○

評価	次年度の取組
平均値よりかなりの削減ができました。	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの実施(アイドリングストップ) ・定期的な車両の点検 ・公共交通機関を積極的に利用

● グリーン購入の推進

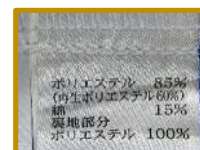
目標達成手段	達成状況
事務用品グリーン購入比率向上	○
環境ラベル認定の製品を優先的に購入	○
建設資材においてグリーン購入法適合品の採用に努める	○



<取組事例>

今年度より作業服を一新

- ・エコマーク認定のものを採用
夏服 (再生ポリエステル)55%
冬服 (再生ポリエステル)60%



グリーン製品購入数 / 事務用品	698点 / 742点	グリーン製品購入率	94.1%
------------------	-------------	-----------	-------

評価	次年度の取組
購入の際、グリーン商品の確認を徹底できました。引き続きグリーン製品の購入を率先していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ラベル認定の製品を優先的に購入 ・建設資材においてグリーン購入法適合品の採用に努める

● 一般廃棄物排出量の削減

目標達成手段	達成状況
プリンター・トナー・TEPRAの回収	○
電子媒体の利用によるペーパーレス化の推進	○

スキャナーカウント数 2019年度／2018年度	11889枚 / 10470枚		
TEPRA 回収量／購入量	19個 / 15個	再資源化率	126.7%
可燃ごみ排出量 2019年度／2018年度	465.7kg / 553.5kg	ごみ削減率	84.1%

評価	次年度の取組
今年から始めたTEPRAも回収出来ました。 引き続き削減、回収に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンター・トナー・TEPRAの回収 ・電子媒体の利用によるペーパーレス化の推進

<取組事例>

・TEPRAの回収



*30個以上溜まったら購入店(ASKUL)に返却。
今年度は個数を超えなかった為引き続き継続。

・分別



*色分けをして間違えないように

・乾電池の回収



● 建設産業廃棄物の適正処理

目標達成手段	達成状況
建設産業廃棄物の適正な処理	○
廃棄物の発生量の把握	○
作業ミスによる廃棄量の削減	○

家電リサイクル	0台		
小型家電リサイクル	2台		
建設産業廃棄物 再資源化量／総排出量	149.04t / 170.55t	再資源化率	87.4%

評価	次年度の取組
昨年度より混廃の割合が減り 適正に分別を行うようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> ・建設産業廃棄物の適正な処理 ・廃棄物の発生量の把握 ・作業ミスによる廃棄量の削減

● 化学物質使用量の把握

目標達成手段	達成状況
塗装の際、低VOC塗料であることの確認	—
低VOC塗料使用量（含有PRTR制度対象物質）	—

評価	次年度の取組
今年度は該当現場無し	・化学物質使用量の把握

● オゾン層保護

目標達成手段	達成状況
廃棄時に使用フロン類を適正に回収・破壊	—
フロン回収(台)	—

評価	次年度の取組
今年度は該当現場無し	・廃棄時に使用フロン類を適正に回収・破壊

● 温室効果ガスの削減

目標達成手段	達成状況
入場車両の排ガス規制適合の確認	○
対象車両(台)	41台

評価	次年度の取組
確認しました。	・入場車両の排ガス規制適合の確認

◇環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無◇

法規制等名称	要求事項	遵守状況
環境配慮促進法	環境保全についての配慮 環境報告書の作成及び公表	適正処置
グリーン購入法	できる限り環境物品等の選択	適正処置
地球温暖化対策推進法	省エネルギー、排出ガス抑制	適正処置
大気汚染防止法	排出基準の遵守 排水濃度の測定・記録(3年保存)、監視	適正処置
石綿障害予防規則	石綿ばく露防止	適正処置
NOx・PM法	特定地域の建設業に関連する自動車排出窒素酸化物の抑制	適正処置
東京都ディーゼル車規制	粒子状物質排出基準を満たさないディーゼル車（乗用車を除く）は、東京都内での走行禁止。	適正処置
水質汚濁防止法	排出基準の遵守 排水濃度の測定・記録(3年保存)、監視	該当なし
騒音規制法	基準値の遵守 特定施設設置の届出	該当なし
振動規制法	基準値の遵守 特定施設設置の届出	該当なし
廃棄物処理法	委託業者の委託契約書及び業者の許可内容が適正である事の 確認及び許可証の写しの保管 マニフェストの管理	適正処置
建設リサイクル法	分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化 分別解体の計画書作成・実行	該当なし
家電リサイクル法	特定家庭用機器の廃棄時の適正処置 （作業所及び本社の家電が対象）	適正処置
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器等の廃棄時の適正処置 （作業所及び本社の家電が対象）	適正処置
化学物質排出把握管理 促進法（PRTR法）	第1種指定化学物質取扱者は排出・移動量を報告 性状及び取扱に関する情報(SDS)の受取・発行	該当なし
フロン排出抑制法	フロン類の適切な処理・回収・破壊の工程の確認 空調機の 簡易点検・定期点検の実施	適正処置
中野区環境基本条例 第6条（事業者の責務）	事業系一般廃棄物 ごみ出しルール（分別・収集日等） 事業系有料ごみ処理権購入	適正処置
労働安全衛生法	年一回の健康診断の実施	適正処置

違反、告訴等の有無

環境関連法規への違反・告訴等はありませんでした

また、過去3年間にわたり関係機関からの違反指摘等はありません

◇代表者による全体評価と見直しの結果◇

エコアクション21認証・登録より7年が経過しました。

来年度にも環境関連法の改定が行われ、環境活動を取り巻く日常は目まぐるしく変化をしているように感じます。

そんな中、数値目標の達成・未達成はあるものの、取り組み以前に比べたら格段の差を感じるようになってきました。

今後も環境に配慮した事業活動を続け、SDGs の達成に向けた活動をしていきたいと考える。